

## 春日井市観光・にぎわい創出基本計画の策定について

### 1. 春日井市観光・にぎわい創出基本計画の目的

春日井市における観光産業の総合的な振興に向けた論点整理、今後の方向性、具体的方策とステークホルダーごとの役割を明確化し、行動するための拠り所として「観光・にぎわい創出基本計画」を策定し、関係者・市民と共有を図る。

### 2. 春日井市の現状認識

«SWOT分析»

強み (Strength)	弱み (Weakness)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● 歴史に裏打ちされた「サボテンのまち」という全国でも特異なコンテンツ</li> <li>● 「書のまち」「剣道のまち」という外国人旅行者にとって魅力的なテーマ</li> <li>● 近郊観光や着地型観光への来訪者の一大供給元である名古屋市に隣接した立地</li> <li>● 空港や高速道路、鉄道といった各種交通アクセスの良さ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 城のようなランドマークがない</li> <li>● 地場産業等のキラーコンテンツがない</li> <li>● 担い手がいない</li> </ul>
機会 (Opportunity)	脅威 (Threat)
<ul style="list-style-type: none"> <li>● “物見遊山”的団体見物観光から体験型個人旅行に観光志向が変化</li> <li>● ジブリパーク開業やリニア新幹線開通等が予定されている</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● コロナ感染症禍での移動自粛</li> <li>● 近隣市町村が観光施策で先行している</li> </ul>

### 3. 観光・にぎわい創出基本計画の方向性

【従来】観光施設のような「モノ」への集客



【今後】本市ならではの体験ができるような着地型観光やマイクロツーリズムといった「コト」への集客

対象となる地域の資源を発掘し、その磨き上げと活用の方向性を検討

※サボテンはもちろん、書や剣道、身近な文化財や日常の景色といった市民が当たり前になっているものも含めて、その可能性を掘り起こす。

- ・ 発掘した地域資源を観光資源に磨き上げるための方策
- ・ 個々の観光資源に関わる行政・事業者及び関係機関の役割・スケジュール等のアクションプランとしての具体化

### 4. 計画策定にあたり検討すべき主な課題

- 魅力的な観光商品の造成とその発信方法
- 着地型観光の担い手の育成
- 公的施設利用の障壁
- 市内移動手段の確保

### 5. 計画策定に向けたスケジュール

令和4年	6月	計画素案作成
	6月～7月	パブリックコメント実施
	9月	議会への報告後、公表

※推進会議実施時期：令和3年8月、12月、令和4年3月、5月、8月

#### 【将来展望】

- ・ 基本計画の策定に合わせ（または策定後に）、地域未来投資促進法に基づく地域経済牽引事業計画の策定を行い、国の承認を目指す。
- ・ 基本計画において、観光コンベンション協会の機能強化とともに、地域DMO（観光地域づくり法人）への登録に向けた展望についても検討。